

厚生労働省 平成25年度

多職種協働によるチーム医療の推進事業

一般社団法人岩手県歯科医師会

岩手県におけるNST連携の推進

岩手県歯科医師会では、NSTをキーワードに病診連携を進めてきた。

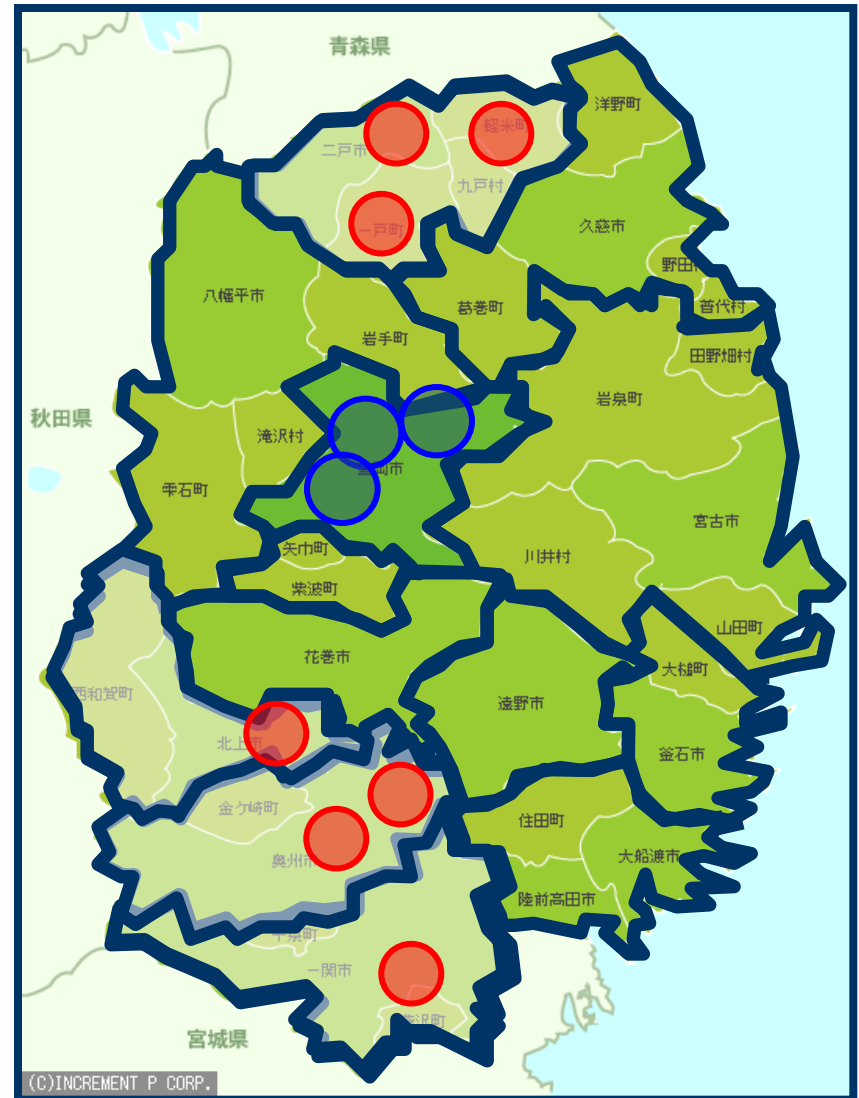
歯科医師が参加するNST 連携の推進

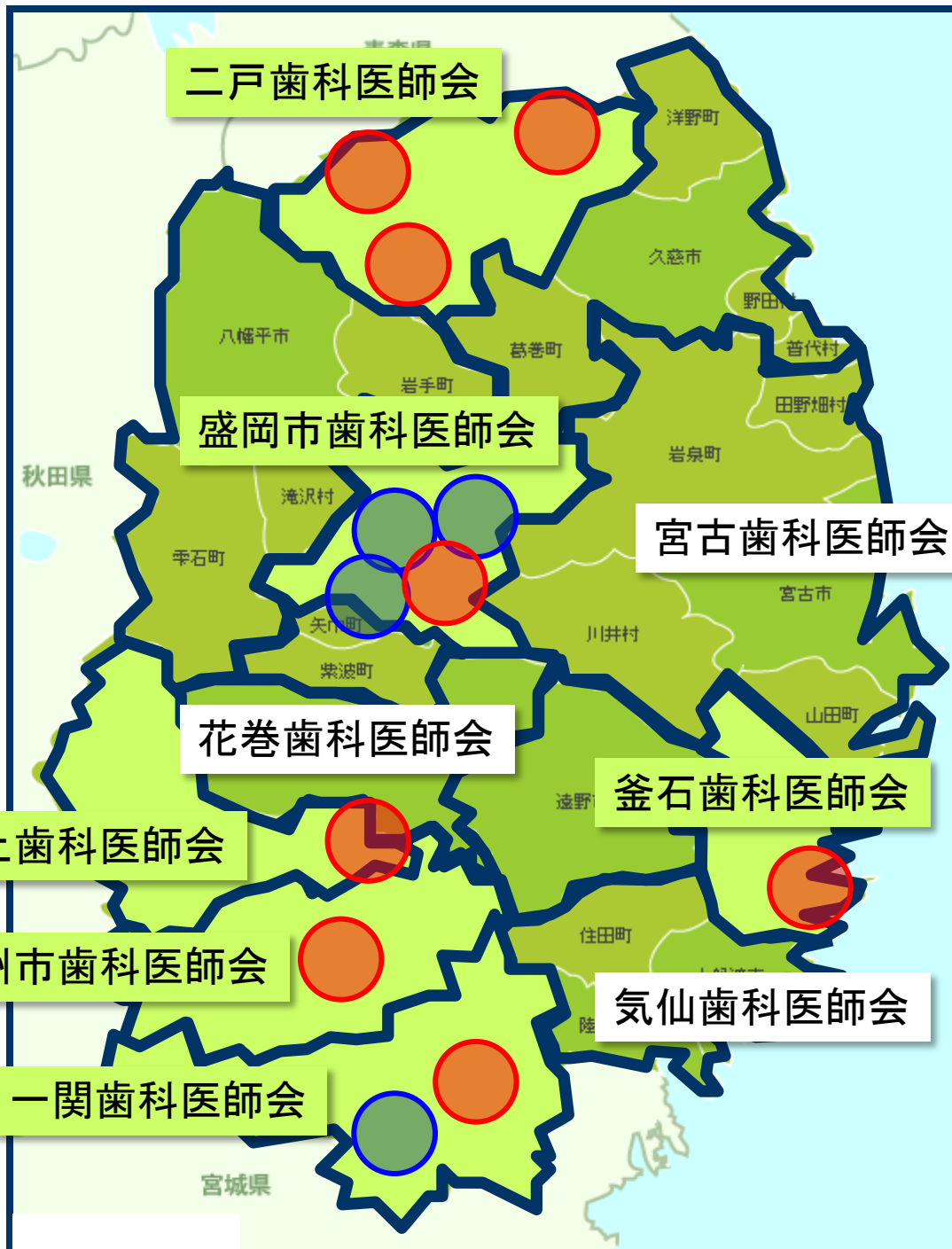
—岩手県における事例からの検討—



2008. 9

岩手県歯科医師会 口腔保健センター





- 院内歯科医がNSTにかかわる病院
- 歯科医師会がNST連携している病院

花巻市歯科医師会は岩手県立中部病院NSTとH26.4に連携予定

気仙歯科医師会は岩手県立大船渡病院とNST・がんでH26.4に連携予定

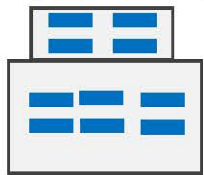
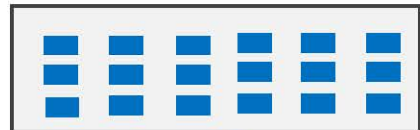
宮古歯科医師会には岩手県立宮古病院から連携要請あり

岩手県奥州市における取組について

- 歯科のない急性期病院でのNST連携から地域歯科連携へ -

岩手県立胆沢病院
(歯科標榜なし)
病床数351床

その他の病院・回復期病院等



介護支援専門員、地域包括支援センター

ケアマネと歯科医師会との
協議会 (H21~)

依頼情報・訪問

NST回診に歯科医師が参加
(H18~)

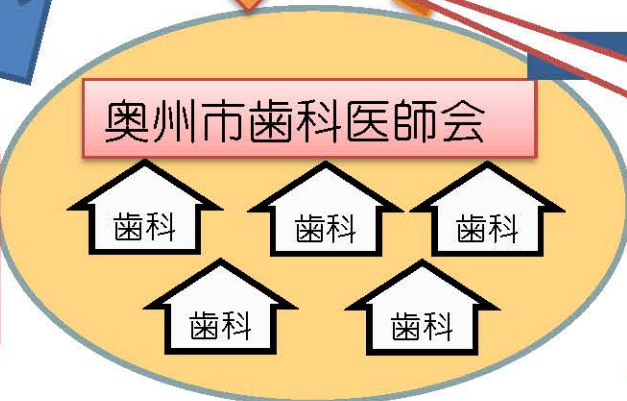
依頼情報

訪問

地域住民

出張「健口講座」
(介護予防)を実施
(H22~)

平成18年
NSTチームから歯科依頼：0件
病棟等からの歯科依頼：1件
平成21年
NSTチームから歯科依頼：6件
病棟等からの歯科依頼：20件



ファックスによる連絡網の整備
平成21年
ファックス依頼件数：5件
平成23年
ファックス依頼件数：35件

- 急性期病院のNSTチーム参加する歯科医師による情報提供等をもとに病院から依頼。
- ケアマネと協議会、検討会を定期的で開催し基盤整備のもと、ファックス通信による連絡・情報提供が有効に稼働。
- ケアマネからの連絡経路は、急性期病院同様に、奥州市歯科医師会が窓口。
※オレンジの矢印は新たな取り組み

岩手県歯科医師会において実施する研修会について

〈目的〉

岩手県における病院内回診における医科歯科連携については、病院内における口腔機能管理、周術期やN S Tや歯科回診など、口腔の管理においての成果が挙げられている。

また、入院前、入院中、入院後における切れ目のない口腔機能の管理が重要であり、チーム医療における医科歯科連携の推進の重要性は高まっているとともに、本県では、各所で先駆的な事例も展開されている。

これらを背景として、チーム医療の医科歯科連携を地域の特性に沿って推進するために、多職種による研修会を開催し、チーム医療がより一層普及・定着することを目的とする。

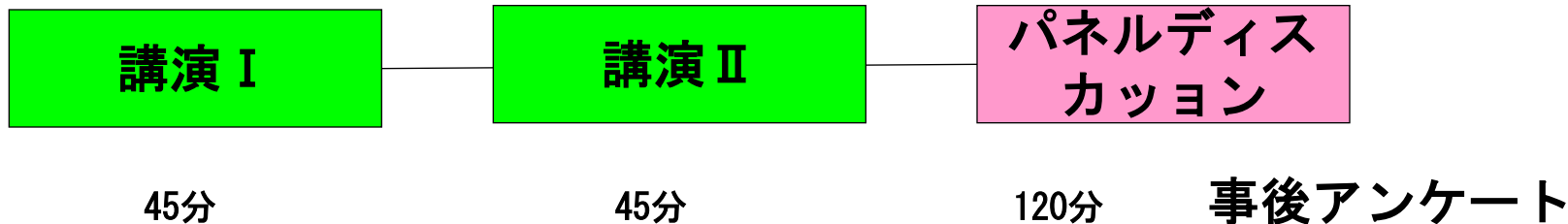
＜企画体制＞

岩手県歯科医師会口腔保健センター事業運営委員会（医師会、薬剤師会、看護協会、岩手県リハセンター、栄養士会、歯科衛生士会、歯科技工士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、ケアマネ協会、県行政等で構成）にて協議し、下記の企画体制を整備。

- ・ 岩手県歯科医師会に研修会実行委員会を設置する。
- ・ 委員会の委員は、岩手県歯科医師会、岩手県立病院等の機関・団体から選任する。

＜研修内容の構成＞

事前アンケート



＜受講者＞

医師、歯科医師、看護師、栄養士、薬剤師、言語聴覚士、歯科衛生士、SMWなど

＜開催日・場所＞

平成25年12月21日（花巻）、平成26年2月1日（盛岡）、平成26年2月22日（二戸）

〈プログラム内容〉

1 開会

2 挨拶

3 研修内容

事前アンケート

(1) 講演 1時間30分

①「チーム医療における歯科の役割について」

講師：昭和大学名誉教授 向井美恵先生

②「病院における医科歯科連携の取組について」

講師：岩手県立中部病院院長 北村道彦先生

(2) パネルディスカッション 2時間

「各地域における医科歯科連携の取組みについて」

パネラー：歯科医師、歯科衛生士、病院関係者（医師、看護師、
管理栄養士等）

4 閉会

事後アンケート

〈アンケートによる評価等〉

- ・ 研修会終了前後に実施するアンケートにて、受講者の意見を把握する。
→ 研修会の効果、研修会の内容を評価する。
- ・ 研修会実行委員会において、評価を行う。
→ 研修会の内容、運営方法を評価する。

〈まとめ（報告書のイメージ）〉

- (1) 研修会実行委員会の開催結果
- (2) 研修会の開催要領
- (3) 研修会の資料
- (4) アンケートの集計結果・考察
- (5) 研修会の評価（本評価は、口腔保健センター事業運営委員会にて実施）



医科歯科連携とチーム医療

～衝撃の出会い、NSTからがん連携へ、そして新しい医科歯科連携へ～
岩手県立中部病院 院長 北村道彦



平成25年度多職種協働によるチーム医療推進事業
平成26年3月1日

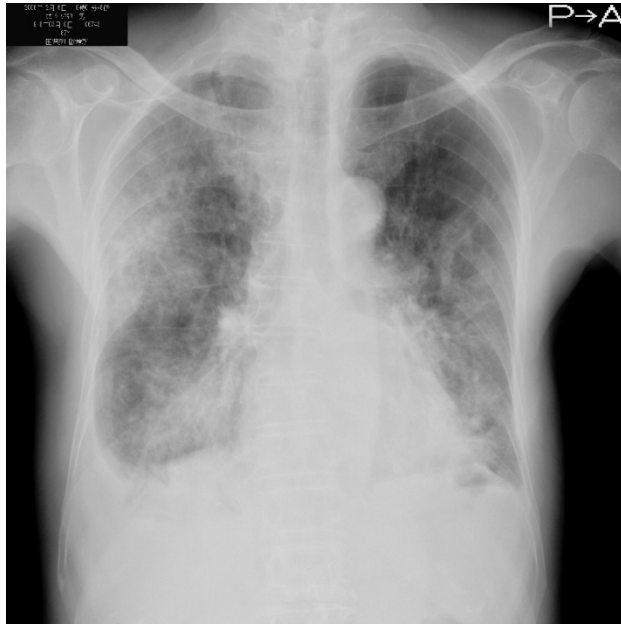
前任地の岩手県立胆沢病院でのNST勉強会

衝撃のプレゼン;すべての始まりでした

歯科治療と低栄養の問題

衣川歯科診療所
佐々木勝忠所長

肺炎で入院した低栄養のO・Uさん



Doctor から家族への説明 (3 / 1)

病名：誤嚥性肺炎とインフルエンザ

状態：傾眠（認知症、せん妄、うつ状態）

食事摂取の低下

問題点：低栄養

①点滴のみ……必ず弱る

②強制的な栄養補給…良くてベット上か

・経鼻胃管……少し苦しい

・胃瘻………本人の同意が必要

ただし、栄養補給を行っても必ずしも全身状態が良くなる保証はない。誤嚥性肺炎の危険性は変わらない。認知症の改善は期待できない。



3/8 H17.2.16 Wt 55kg Alb 4.3g/dl
18.3.02 Wt 42kg Alb 2.4g/dl

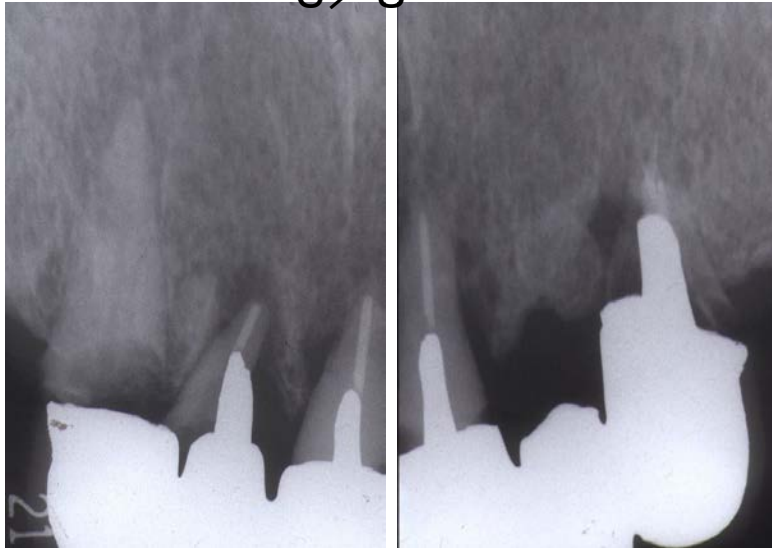
ハイリスクの低栄養の評価

体重減少率	アルブミン値
1カ月に > 5.0%	< 3.0g/dl
3カ月に > 7.5%	
6カ月に > 10.0%	

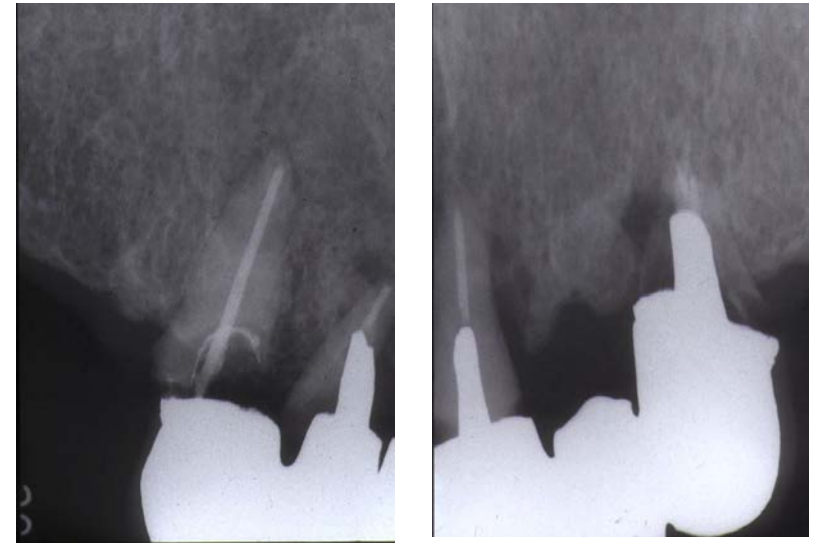
入院中の歯科治療



3/8



3/13



退院2週間後の歯科受診



3/13に義歯調整終了

3/27

H17.2.16	Wt 55kg	Alb 4.3g/dl
18.3.02	Wt 42kg	Alb 2.4g/dl
3.27	Wt 46kg	Alb 3.3g/dl

退院後2カ月後の歯科受診



3/13に義歯調整終了

5/15

H17.2.16

Wt 55kg

Alb 4.3g/dl

18.3.02

Wt 42kg

Alb 2.4g/dl

3.27

Wt 46kg

Alb 3.3g/dl

5.15

Wt 46.8kg

Alb 3.7g/dl

岩手県奥州市衣川歯科診療所 佐々木勝忠所長より供与

退院後3カ月後の自宅で状態



歯科治療でよみがえりました。衝撃を受けました。



3/13に義歯調整終了

6/17

H17.2.16	Wt 55kg	Alb 4.3g/dl
18.3.02	Wt 42kg	Alb 2.4g/dl
3.27	Wt 46kg	Alb 3.3g/dl
5.15	Wt 46.8kg	Alb 3.7g/dl
6.12	Wt 48.5kg	Alb 4.0g/dl

岩手県南の2次医療圏の基幹病院で、
歯科の標榜がない、
県立胆沢病院(奥州市)と
県立中部病院(北上市)での
活動報告

医科歯科連携はNSTからスタート

NSTとは？

Nutrition Support Team
栄養サポートチーム
のことです

NSTが必要な理由

入院している人の30～50%が栄養不良状態
在宅治療を受けている人の約30%が栄養不良状態
外来治療中の人の7～10%栄養不良状態

栄養不良であると

病気が治らない

合併症が増える

傷の治りが悪い

褥瘡をつくる

入院が長引く

医療費も増える

栄養状態を改善する為には歯科スタッフ、栄養士、調理師、医師、
看護師、薬剤師、リハビリ技士、検査技師、放射線技師、SW、事務
など全ての部門の協力が必要

チーム医療で対処しなければならない！！

岩手県立胆沢病院のNST活動への歯科の参加 1

平成17年～

衣川歯科診療所: 佐々木勝忠所長

回診への参加

勉強会への参加

勉強会の講師

⇒ 口腔ケア、義歯調整、嚥下訓練の重要性再認識

平成18年

衣川歯科診療所: 歯科衛生士

口腔ケア指導各病棟計6回

⇒ 看護師の口腔ケアの技術向上

⇒ 院内の口腔ケアの意識向上

岩手県立胆沢病院のNST活動への歯科の参加 2

平成18年12月～

奥州歯科医師会のNST回診参加スタート

毎週金曜日、14:30～15:30

1回3～4名の患者

回診とデスカッションとコメントのカルテ記載

歯科は1～2名参加

口腔所見の記載

口腔ケアのアドバイス

義歯に関するアドバイス

往診の手配

平成19年7月

入院患者の歯科診査

平成20年

奥州歯科医師会による口腔ケアに関する指導DVD作成

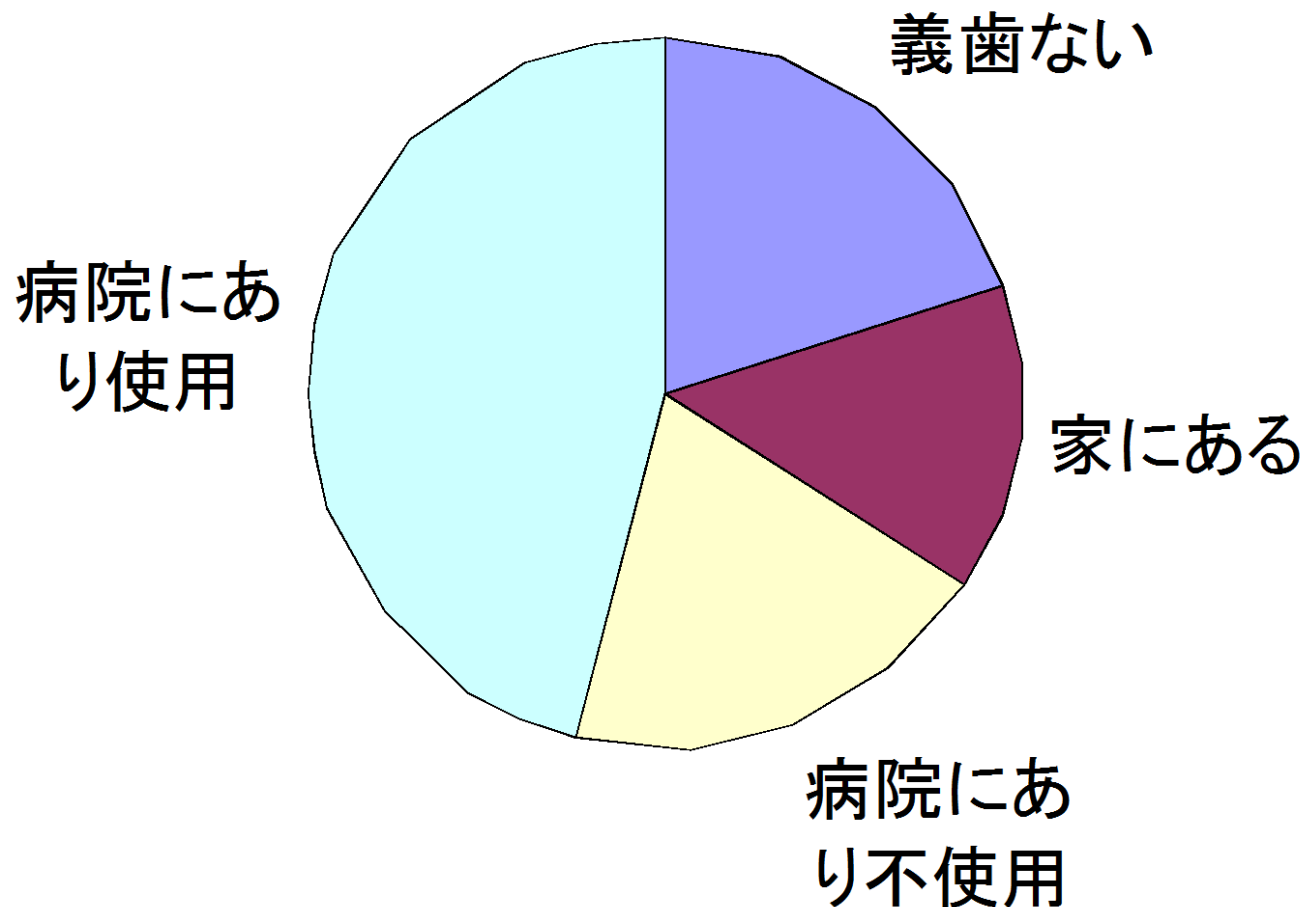
岩手県立胆沢病院入院患者の歯科一斉診察



一斉口腔診査時に発見された自歯による潰瘍



義歯必要な者の義歯使用状況

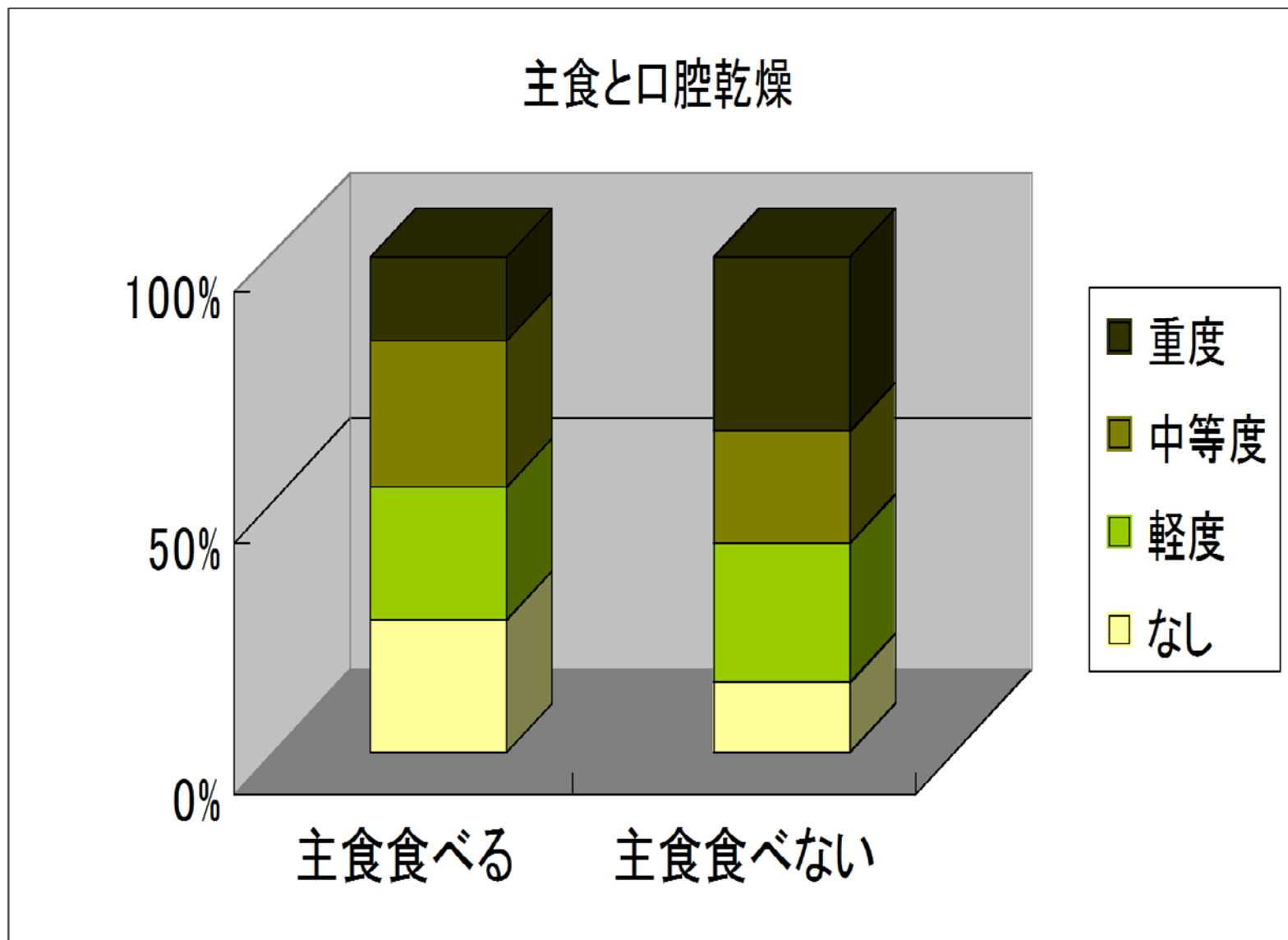


義歯必要な患者への対応が半数以上で不適切

口腔乾燥

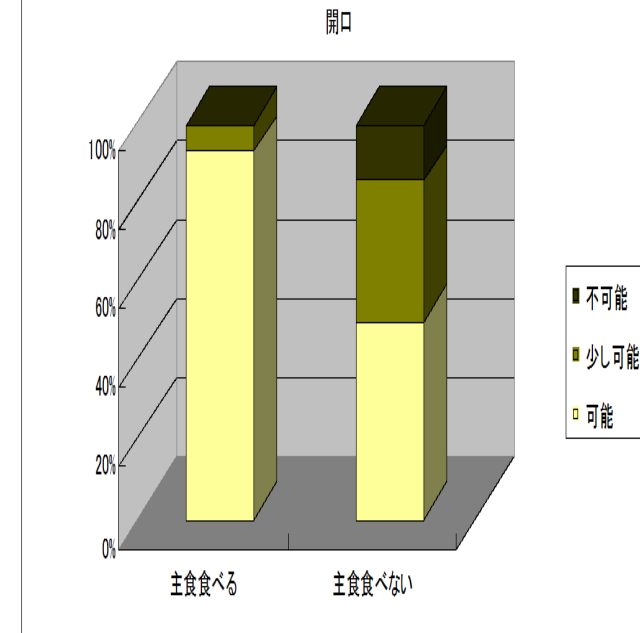
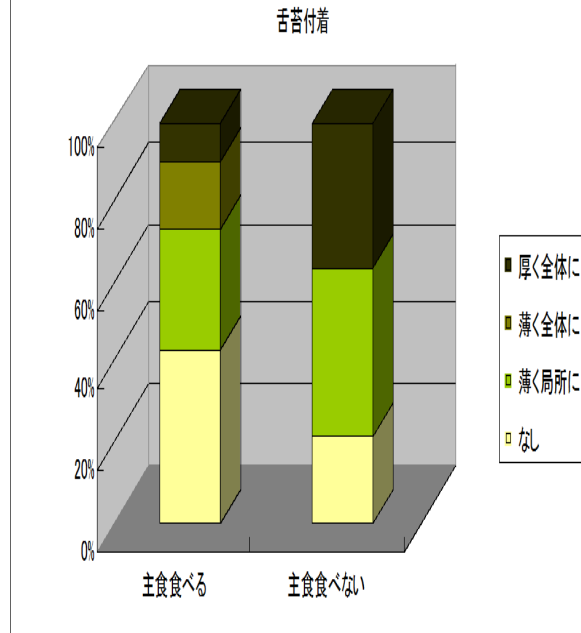
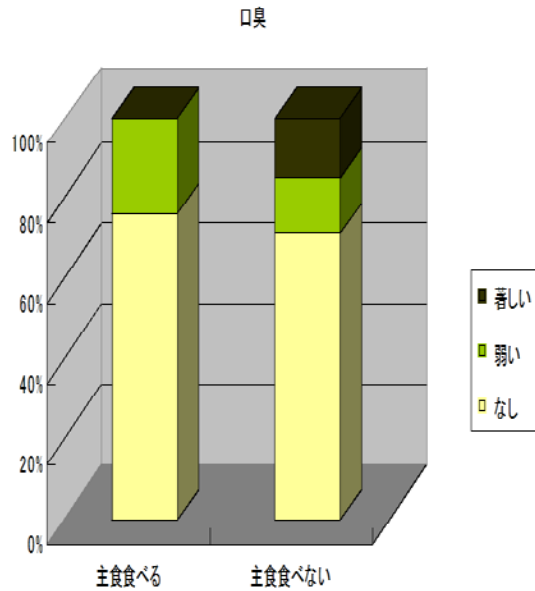
なし	10	22.7%
唾液粘性亢進	12	27.3%
泡の形成あり	12	27.3%
唾液なし	10	22.7%

医科の治療はドライサイドに傾く！！
口腔内乾燥は多くの入院患者に存在



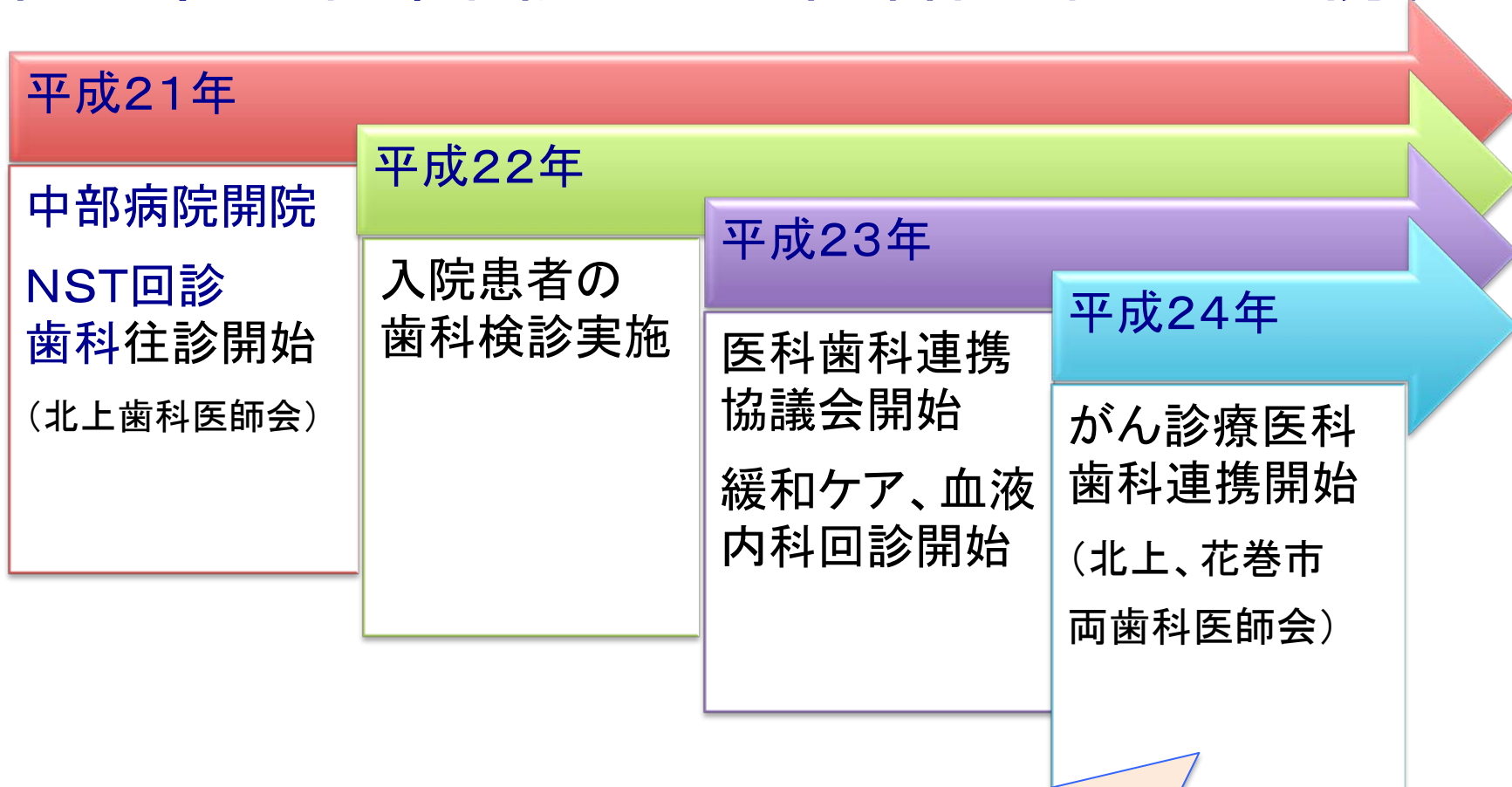
主食を食べない患者にも十分な口腔ケアを

主食摂取と口臭、舌苔、開口障害の関連



食事非摂取患者の口腔ケアに弱点あり
食事非摂取患者の摂食機能の廃用性低下

岩手県立中部病院と地区歯科医師会の連携経過



歯科衛生士が地域医療福祉連携室に配備
医科歯科連携に関する活動をサポートする体制構築

岩手県立中部病院 口腔内歯科診査

目的: 県立中部病院入院患者の口腔内状況の把握

担当: 岩手県北上歯科医師会

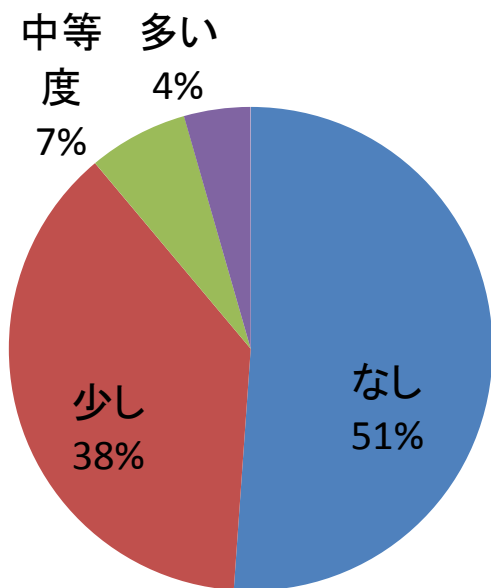
対象: 中部病院の入院患者 45名 (男性23名、女性22名)

実施日: 平成23年1月29日(土)

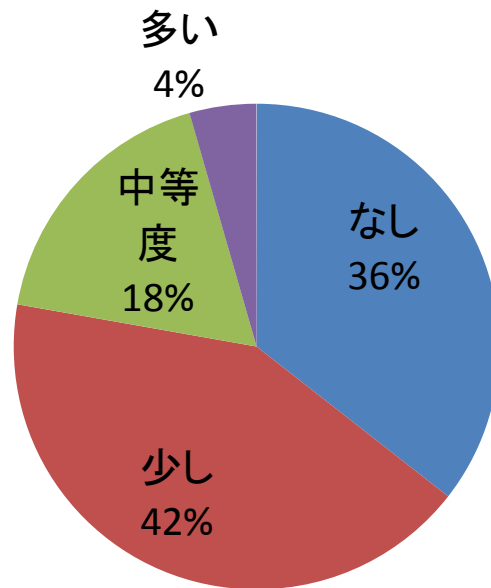


口腔清掃状態

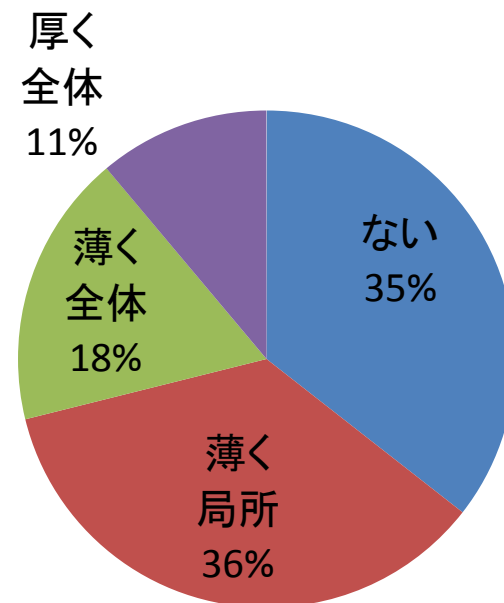
食鎖残留



歯垢の付着



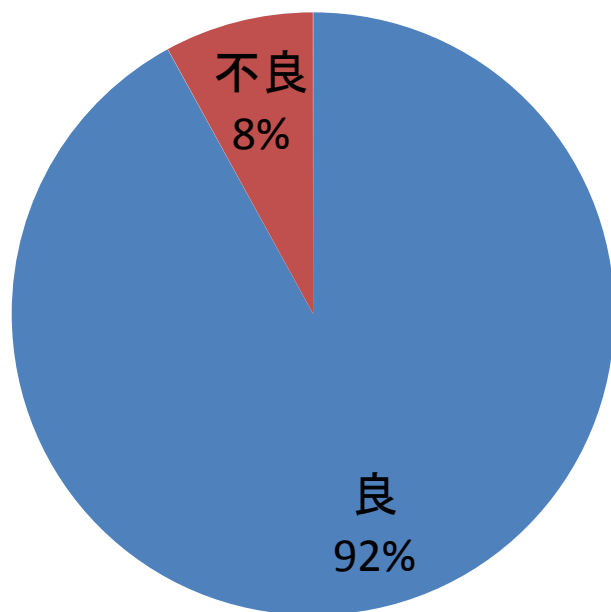
舌苔の付着



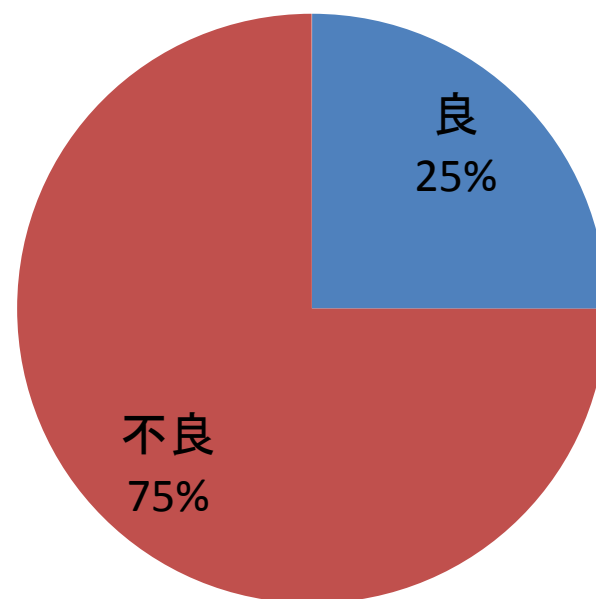
歯垢、舌苔の付着が食鎖残留より多い。

経口摂取と舌運動

経口あり



経口なし



経口摂取していない患者さんは舌運動が不良.

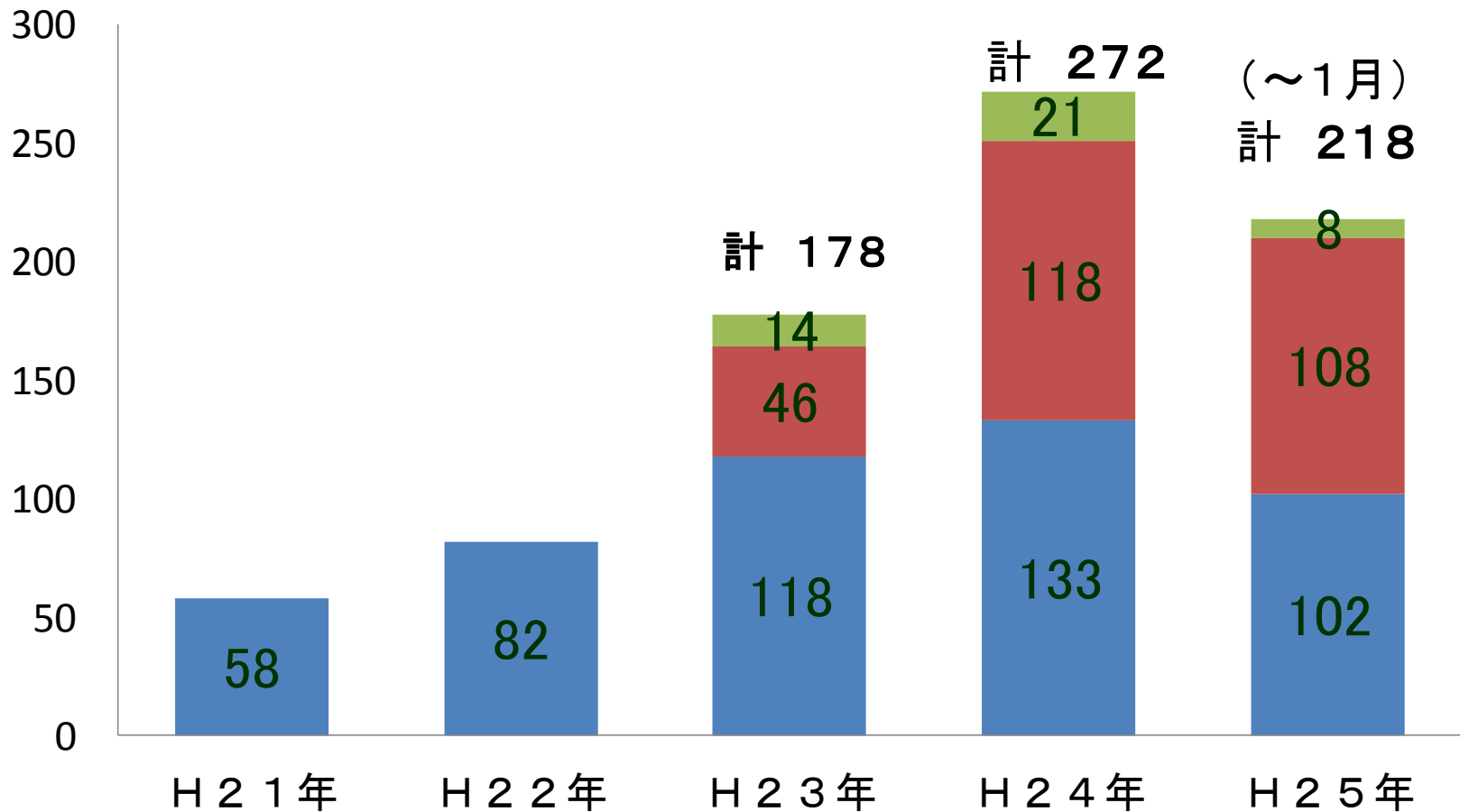
2回の岩手県立病院における口腔内一斉
診査の結果、急性期病院には**歯科の大きな**
ニーズがあることが明らかになる



メンバーが
足りません

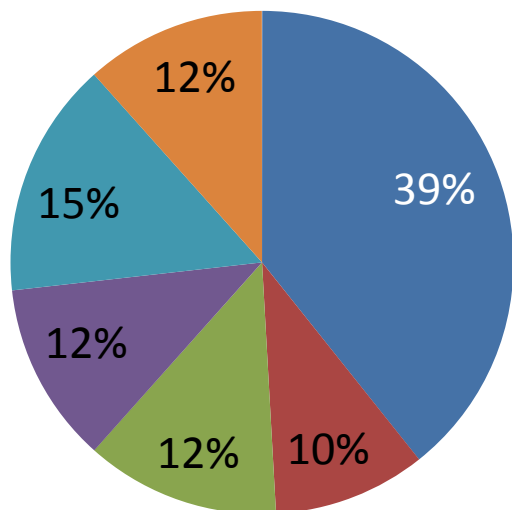
岩手県立中部病院における NST・血液内科・緩和ケア回診人数の状況

■ NST ■ 血液内科 ■ 緩和ケア

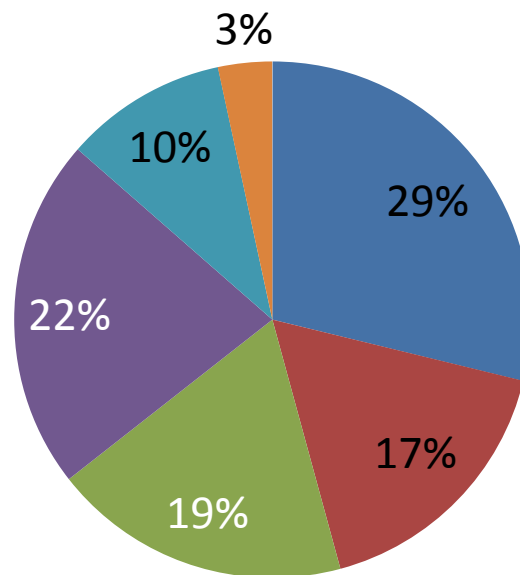


H24年岩手県立中部病院 歯科回診明らかになった治療内容

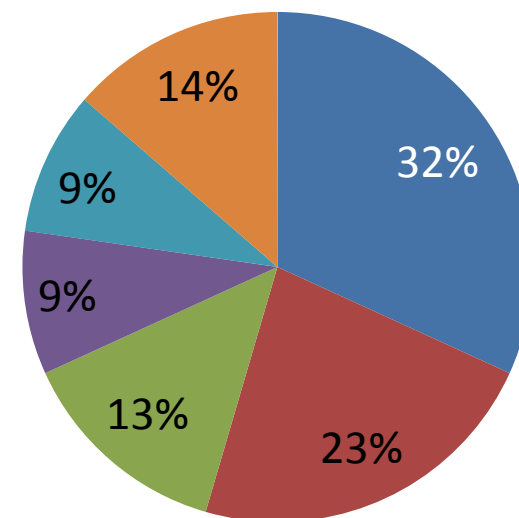
NST



血液内科

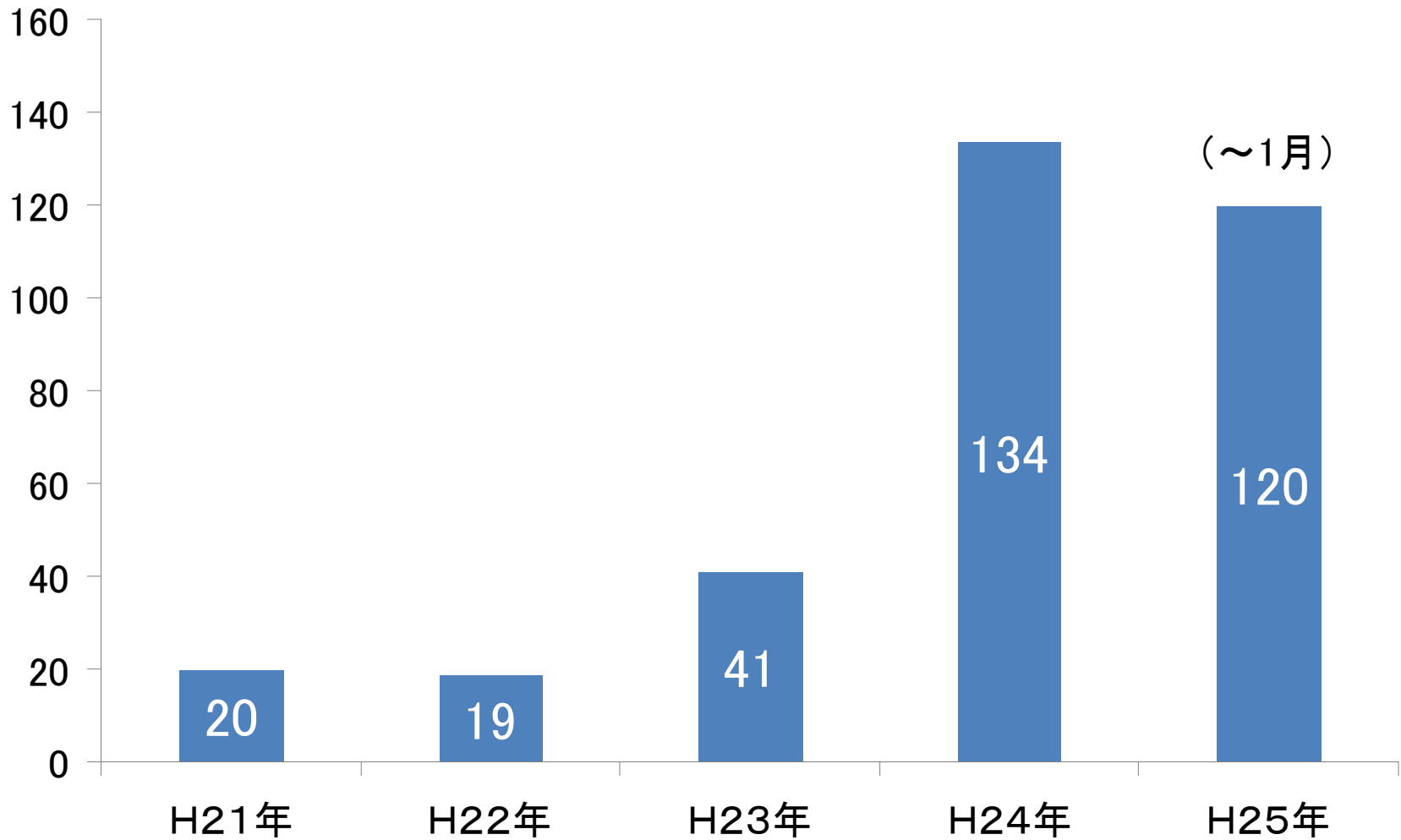


緩和ケア

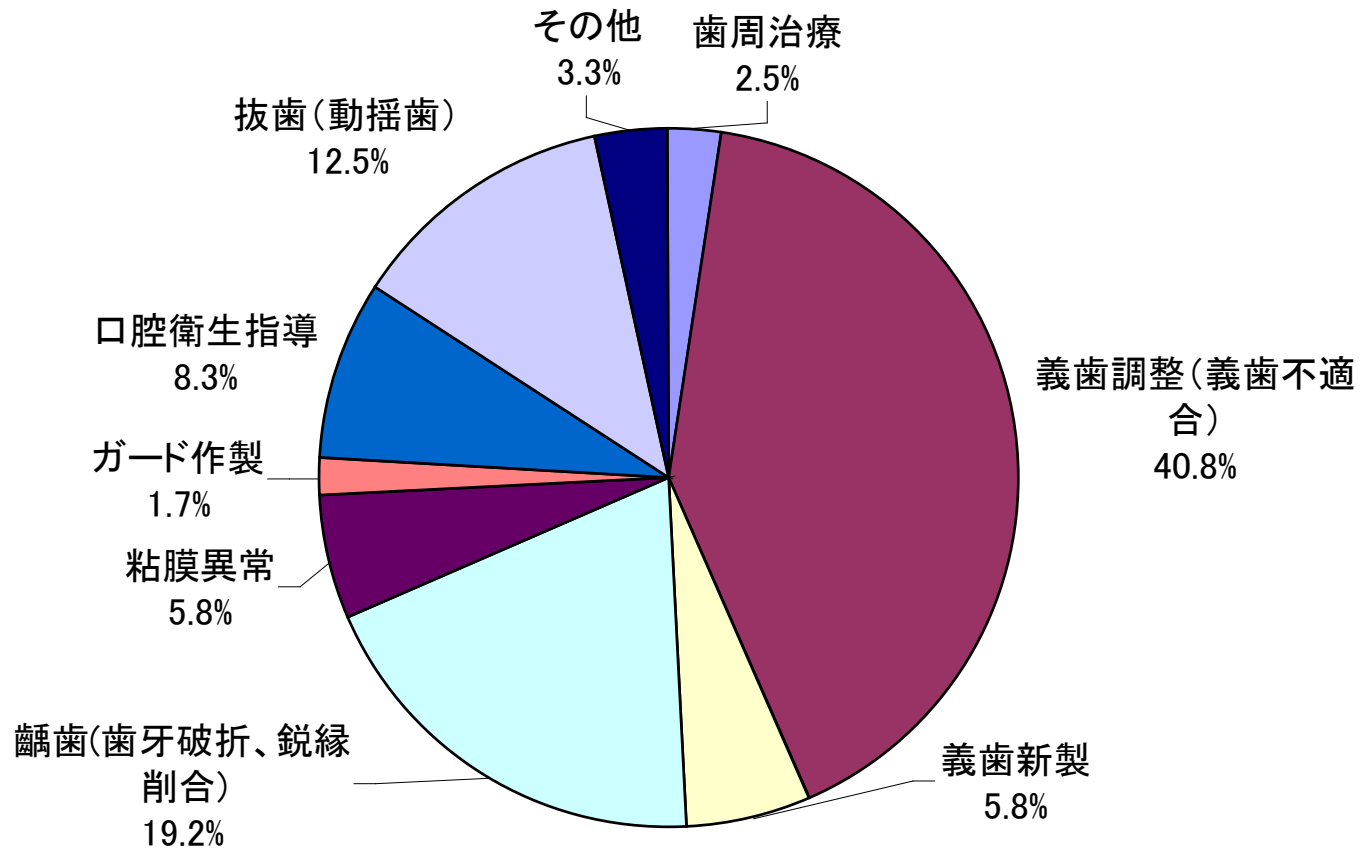


■ 義歯調整 ■ 義歯新製 ■ 虫歯治療 ■ 歯周治療 ■ 抜歯 ■ 粘膜疾患

岩手県立中部病院における 歯科医院からの往診件数



歯科往診依頼内容(H25)



■ 歯周治療

□ 齲歯(歯牙破折、鋭縁削合)

■ 口腔衛生指導

■ 義歯調整(義歯不適合)

■ 粘膜異常

■ 抜歯(動揺歯)

□ 義歯新製

■ ガード作製

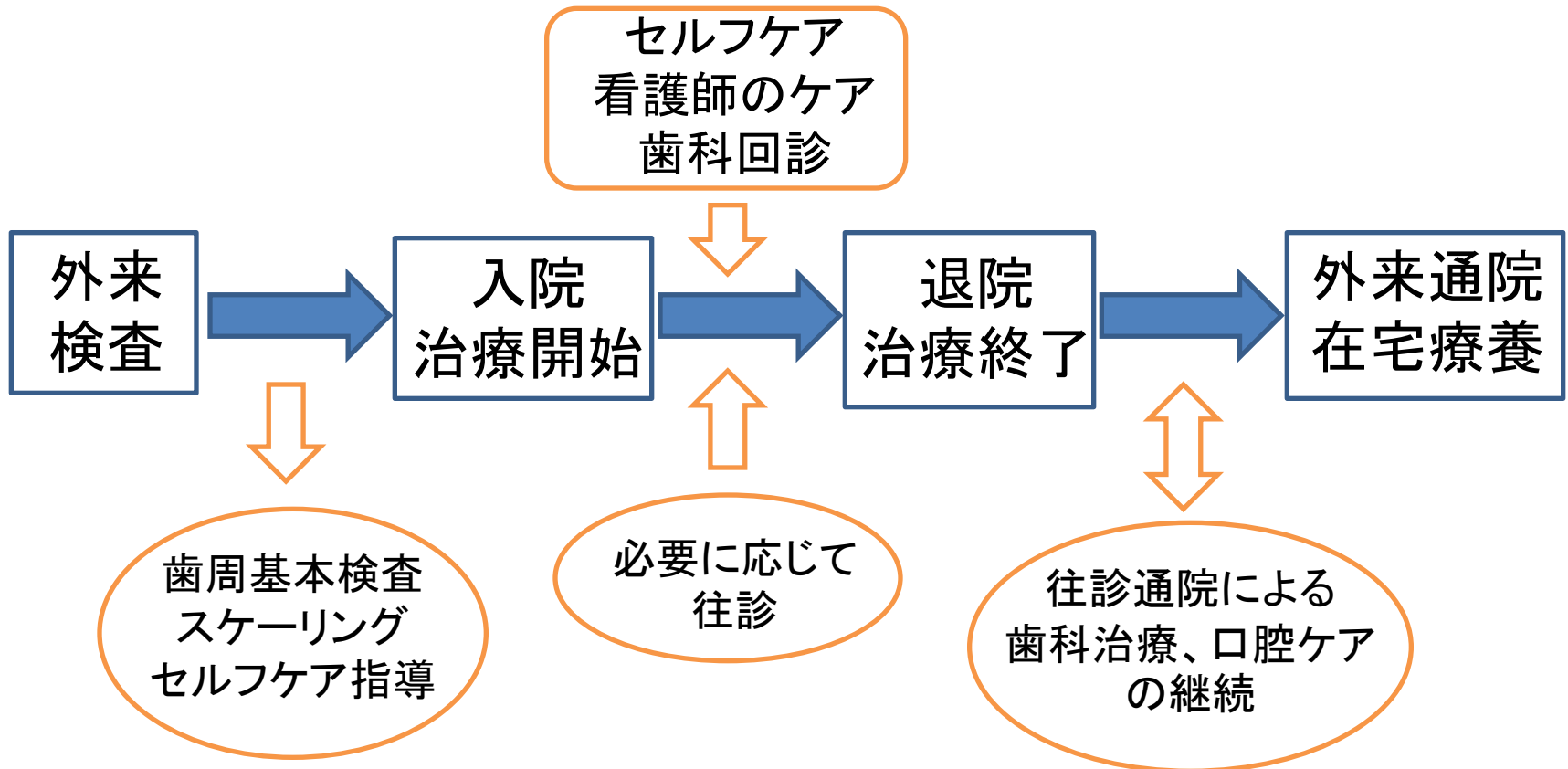
■ その他

岩手県立中部病院 がん診療医科歯科連携 キックオフミーティング

- 平成24年8月1日(水)
- 19:00～
- 中部病院 2階講堂
- 出席者
 - 歯科関係者 73名
 - 行政、県立病院 8名
 - 院内 30名
 - 合計111名



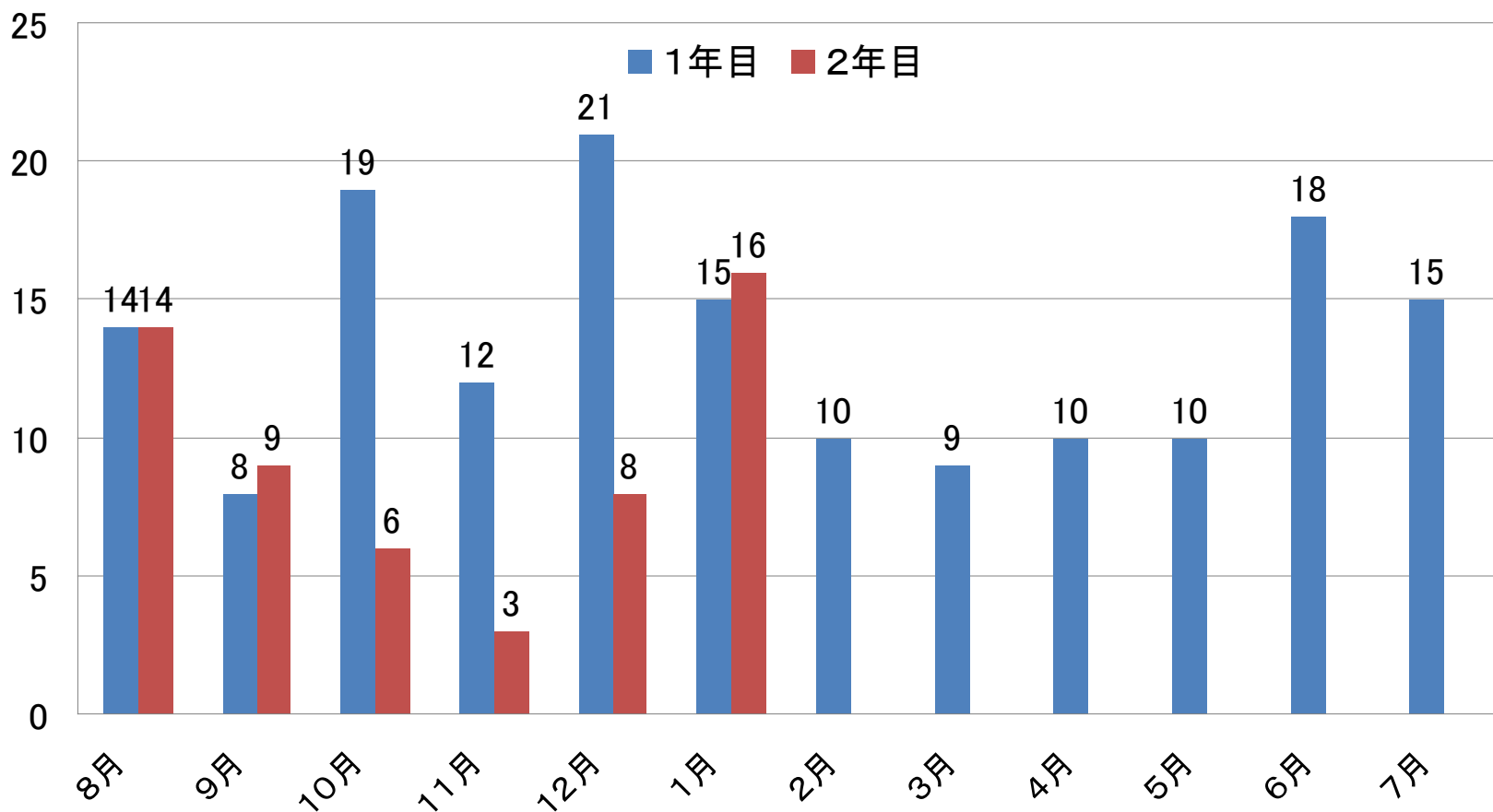
がん診療医科歯科シームレス連携のイメージ



岩手県立中部病院 がん診療医科歯科連携の推移

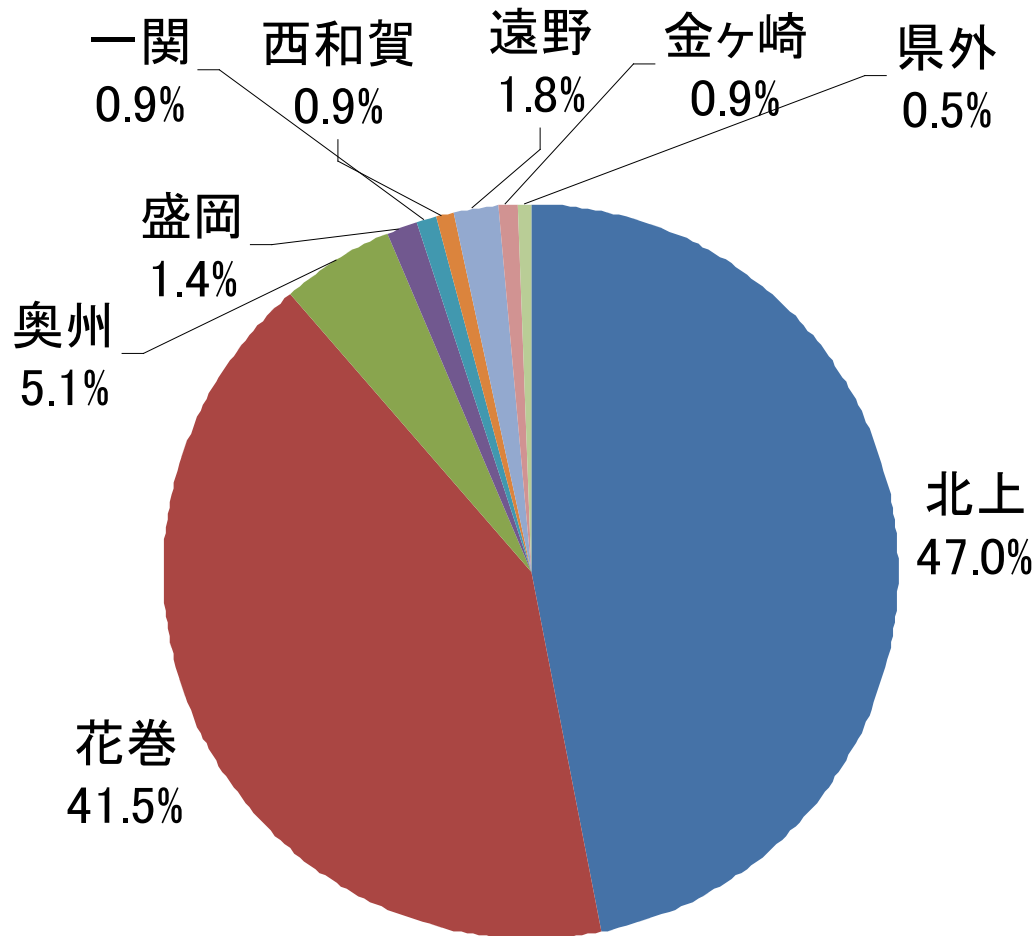
H24年8月～H26年1月(1年6か月)

紹介者数合計217名



岩手県立中部病院 がん診療医科歯科連携 地区別紹介の割合

H24年8月～H26年1月(1年6か月)



岩手県立中部病院は、花巻市と北上市の二つの県立病院が統合して5年前に誕生したので、両方の歯科医師会から支援を受けており感謝しています。

岩手県立中部病院・歯科衛生士の役割

1. 地域歯科医師会と病院の連携

歯科関連の情報を正確に伝える

口腔内の問題点の把握

地域にむけての情報発信

2. 看護師への口腔ケア指導

口腔ケア推進のための組織作り

口腔の専門家としての指導

3. 専門的口腔ケア

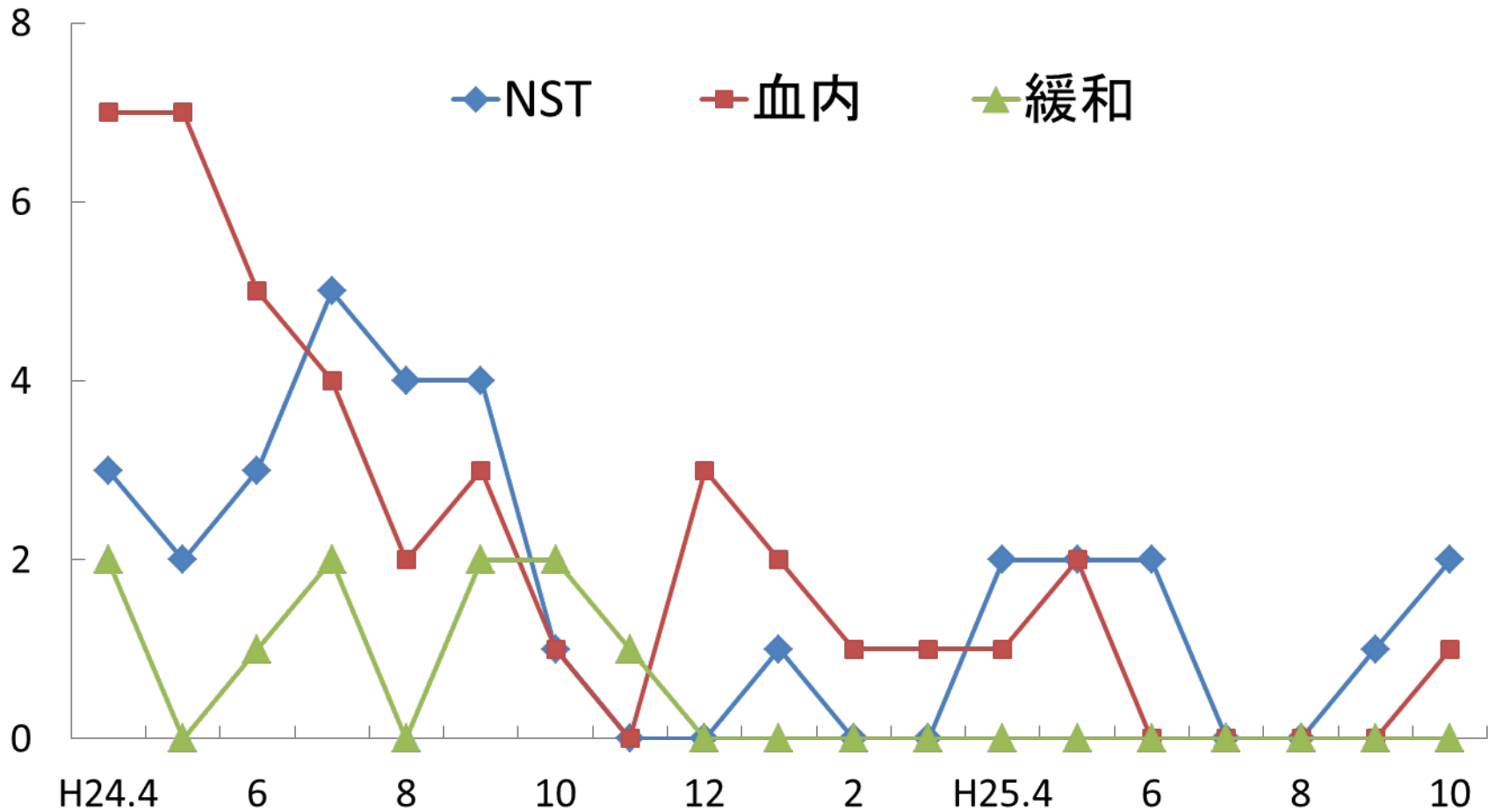
適切な口腔ケアアセスメント

適当な口腔ケアマネジメント

歯科衛生士の採用の効果

- 歯科情報がよりの確に地域歯科医師会のメンバーに伝達され迅速な対応が可能
- 病棟看護師への口腔ケア指導の充実
- 口腔環境、機能の評価の標準化とマネージメント向上
- 地域の歯科医と病院をつなぐコーディネーター機能向上

NST カンジダ数の推移



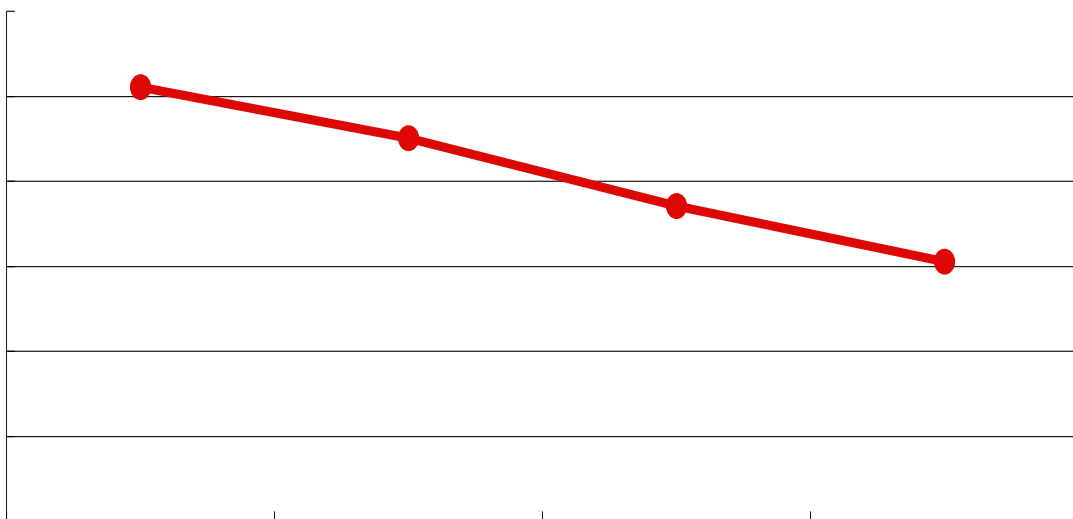
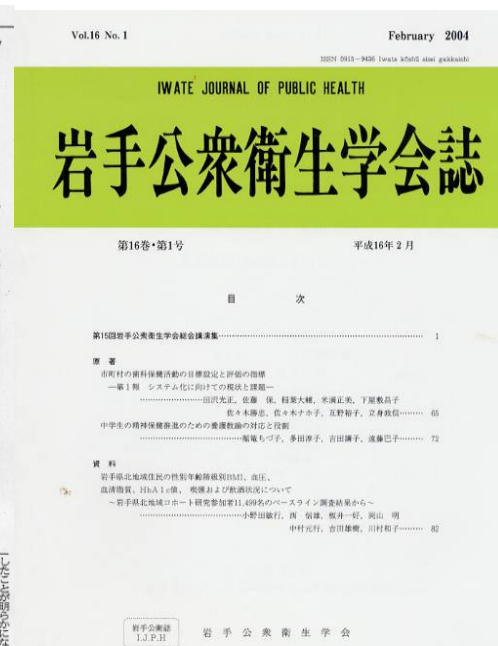
岩手県二戸歯科医師会の 介護施設での取り組み

介護施設での口腔ケア の取り組みで、肺炎 の発生率低下

介護・福祉の試みが
急性期医療に影響



シームレス医療



岩手県奥州市歯科医師会とケアマネ協議会の FAXによる往診依頼情報提供システム

歯科往診依頼書

(宛先：奥州市歯科医師会 FAX0197-24-0861)

平成 年 月 日

ご依頼元ケアマネジャー 事業所名 _____

氏名 _____

電話 _____

患者様名 _____ 男 女 _____ 歳

患者様住所 _____

患者様宅電話 _____

ご依頼内容 歯が痛い のみ込みが悪い

歯が動く むせる

噛めない その他

口が汚れている

傷がある

入れ歯が合わない

口が臭う

該当箇所にチェックを入れて下さい

お願い ・希望歯科医師がございましたらご記入願います。

承諾書 ・ご依頼に対する患者様の承諾（本人または家族の署名、

あるいは押印願います。） _____

表面

要介護の方の口が

以下のようになっていませんか？

口の中

1. グラグラ動く歯がある、痛い歯がある
2. 口の臭いがひどい
3. 歯ぐき、あごの肉に傷がある（図1）
4. 痰や汚れがべったり付いている、舌をべっとできない（図2）
5. 舌が乾いていて、潤いがまったく無い（図3）

さ
ず
が
あ
る



(図1)

(図2)

(図3)

カビカビ
で、乾燥し
ている

入れ歯

1. パネが折れた、割れた
2. ゆるくてすぐ落ちる、合っていない、かめない、痛い
3. 歯が無いのに入れ歯を使っていない



合わない入れ歯

のみ込み

1. 食べる時、飲む時にムセがひどい、食後、ガラガラ声になる
2. なかなかのみ込めないでいる、食事に時間がかかる

どれかに、当てはまる場合は、**歯科治療、ご相談、歯科往診が必要と**

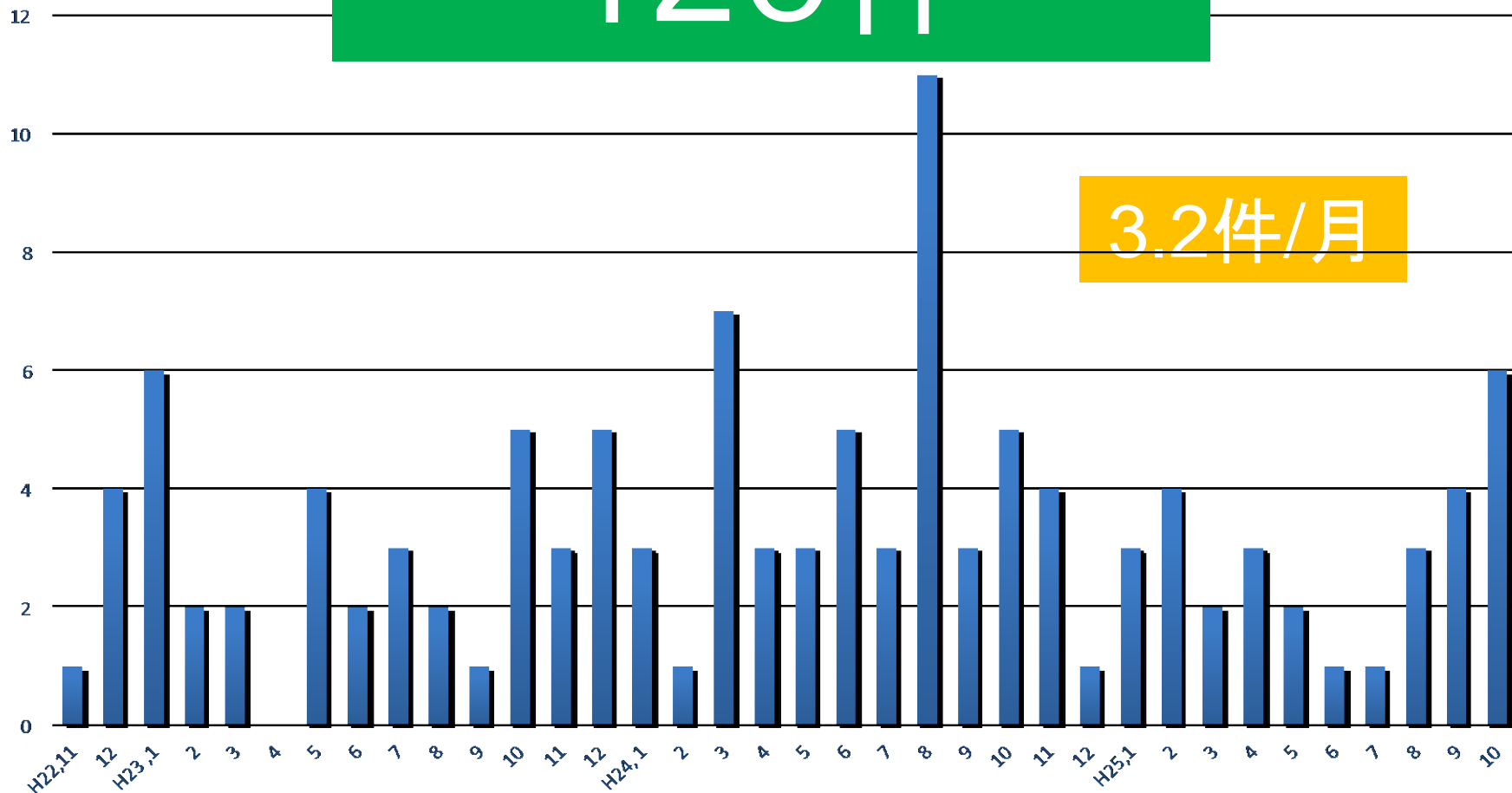
考えられます。

裏面

FAX連携依頼件数の推移

平成22年11月～平成25年10月までの3年間

120件



岩手県奥州市歯科医師会 朴澤弘康先生より供与

まとめ

1. 口腔機能管理を担当する歯科ニーズは、理論的にも臨床現場でも大きく、このニーズの共有が、医科、歯科両方で必要.
2. 歯科を標榜しない医療機関が少なくなく、地域の歯科医師会との連携が必須.
3. NST回診からスタートした医科歯科連携は、緩和を含めた広い意味のがん診療に拡がり、予防、往診、福祉・在宅医療など種々の切り口で、さらに医科治療の多方面に急激に展開.
4. 連携を支える人的、物的資源の確保やシステムの確立、そして何よりも顔のみえる関係構築が重要.